

被災者、支援者それぞれのニーズで課題解決
株式会社万福と「備蓄おにぎり」開発へ
7月8日から 食品開発科学科 3年生

南九州大学(学長 中瀬 昌之)の食品開発科学科は、7月8日(水)から4週にわたって、株式会社万福(宮崎市清武町、大幡正敏代表取締役)と連携した「備蓄おにぎりの開発」に初めて取り組みます。

同学科の「社会課題解決型演習」の一環として実施され、演習初回は、同社の大幡代表取締役と、同社顧問で総合危機管理アドバイザーの三沢おりえ氏を講師にお招きします。企業の取り組みや防災対策に関する講義のほか、災害食の試食などを通して、新たな商品の企画・開発をスタートさせます。

災害時に求められる食品は、被災者と支援者で重視する機能やニーズが異なることから、本演習では、学生を被災者と支援者の立場に分けて商品開発を行い、実践的な食品開発力や課題解決力を養います。

本活動は、来年度設置予定の地域創成学科で重視する、防災や地域課題解決を実践的に学ぶ取り組みにもつながります。地域企業との協働を通じて社会課題の解決に挑む学生たちの取り組みについて、ぜひ取材をご検討ください。

記

初回日時 2026年7月8日(水)13:10~16:20

初回場所 南九州大学 宮崎キャンパス
ひなた館「アクティブラーニングルーム」
(880-0032 宮崎市霧島5丁目1番地2)

講 師 株式会社万福 大幡正敏代表
同社顧問兼総合危機管理アドバイザー 三沢おりえ様

参 加 者 食品開発科学科 学生、教員 約30人

■2回目以降の授業計画・場所

- 15日(2回目) : 場所:本館6階「食品加工学実習室」
演習②・・・オリジナルおにぎりの試作など
- 22日(3回目) : 場所:本館6階「食品加工学実習室」
演習③・・・前回試作したおにぎりの試食
オリジナルおにぎりの最終試作
- 29日(最終回) : ひなた館「アクティブラーニングルーム」
発表・・・学生によるプレゼン、講評

【本件に関するお問い合わせ】

南九州大学 食品開発科学科 矢野原
(代表)0985-83-2111

【発信元】

南九州大学 経営戦略課
(代表)0985-83-2111